

## 【議案第 2 号】 平成 29 年度事業計画

### 【基本理念】

名取市に観光誘客を図り、物産の販売促進に寄与する。

### 【ビジョン】

“食べたい、訪れたい、交流したい”と、何度もリピートする名取ファンをふやす。

### 【目標】

#### I、観光事業

地域資源を活用して観光誘客を図り、観光客入込数を 85 万人（平成 28 年度 82 万）まで増加させる。

#### II、物産事業

食を中心とした特産品の認知度を高め「うまいもん名取 in 仙台空港」での来場者数を 20%アップさせる。

#### III、直轄事業

まつりや地域連携を通して魅力を伝え、交流人口を増加させる。

#### IV、復興桜事業

平成 30 年 3 月に第一段として、閑上地区に復興桜 50 本を植樹し、桜並木づくりを推進する。

#### V、ふるさと寄附事業

新たな特産品や体験プログラムなど、新規御礼品を 20 品増やして、地元特産品に対する寄附の割合を増やす。

## 【施策と平成 29 年度の実施事業】

### I 観光事業

#### I-1 歴史資源の活用

名取市には熊野三社をはじめ、歴史資源が多数点在する。いくつかを組み合わせた観光コースを HP などにて提案して、魅力をアピールし誘客につなげる。

＜平成 29 年度 実施事業＞

- ①熊野三社を案内する観光ガイドの養成  
熊野三社の歴史やガイド案内の方法を学ぶワークショップを、3 回実施する。
- ②観光ガイドを活用した有料ツアーの実施  
熊野三社とグルメなどを組合せた、有料ガイドツアーを 1 回おこなう。
- ③歴史回廊の構築  
歴史資源を巡るコースを策定し、来年度以降のツアーの基礎を作る。

#### I-2 防災ツーリズムの整備・充実

震災語り部などと協働で、名取ならではの防災プログラムを構築し、教育・防災旅行を誘致する。

＜平成 29 年度 実施事業＞

- ①AR アプリの改良  
AR アプリに、全タブレットのセンターコントロール機能などガイドツアーに対応した機能を追加する。
- ②AR 防災タブレットツアーの実施  
ゆりあげ震災を伝える会と協働で有料のタブレットツアーを実施する。  
HP や教育旅行商談会で PR をおこなう。
- ③防災プログラムの構築  
語り部や防災に取り組む団体と共に、東北大学災害科学国際研究所の指導を受けて、防災ワークショップなどのプログラムを作る。

### I-3 賑わいの創出

“訪れて楽しい名取”を目指し、自主イベントの開催や、企業や地域住民が主体となって実施するイベントの支援をおこなう。

＜平成 29 年度 実施事業＞

#### ①JAZZ イベントの開催

ビールを飲みながら JAZZ が楽しめるイベントを、市内 3 カ所で開催する。

#### ②市民イベントの運営支援

名取川堤防での“ミズベリング”、“水辺でカフェ&BBQ”イベントや、北釜地区の“北釜 TO 楽市”の実行委員会の一員として、運営の支援をおこなう。

### I-4 効果的な情報の発信

遠方からの来訪者、仙台経済圏など近距離の来訪者など、それぞれのニーズに合わせて、適切適時に情報発信する。

＜平成 29 年度 実施事業＞

#### ①情報収集・発信

- ・ JR 車内広告、
- ・ 情報誌などの紙媒体や、HP、Facebook などの WEB を活用した広報
- ・ 観光アプリの改良と運用
- ・ 既存パンフレットの増刷、仙台圏など無料設置個所の開拓
- ・ 名取ゆかりの芸術作品（映画・能）を活用した情報発信をおこなう。

#### ②観光誘客 PR

商談会に参加し旅行会社や学校などへ、プロモーションを実施する。

#### ③海外向け情報発信

- ・ Facebook で、定期的に日本語・英語併記の情報発信をおこなう。

## Ⅱ 物産事業

### Ⅱ-1 “うまいものまち”のイメージ定着化

ゆりあげ港朝市、せり鍋、赤貝丼など、名取ならではの“食”素材を積極的にPRし、“名取で食べたい”イメージを浸透させる。

＜平成29年度 実施事業＞

①うまいもん名取2017 in 仙台空港の開催

4回目を迎える観光物産展を仙台空港で開催して、特産品を味わえる飲食ブースを設けるなどして、収益増をはかる。

②“名取いいもんうまいもん”の情報発信

ホームページに名取市の特産品を紹介する特設ページを開設し、JRポスターや動画と連動して、PRをおこなう。

③物産展への参加

東京・仙台などで開催される物産イベントに協会職員が参加し、名取市の特産品をPRします。

### Ⅱ-2 食のブランド力強化

せり、赤貝、メロンなど特産品の、おいしさや鮮度の良さなど、産地だからこそ味わえる魅力を伝え、収益増を目指す。

＜平成29年度 実施事業＞

①イベント出店支援

全国規模のコンテストに参加して名取の食をPRする事業者には、出店料の一部負担などの支援をおこなう。

②名取産せりの認知定着化

名取市以外でも、名取産せりを提供している店舗にのぼりを提供し、“名取のせり”の認知を高める。またHPの特集ページで紹介する。

③新たな特産品のPR

今年復活するメロン北釜クイーンや、秋から操業予定のしらすなど、新たな特産品をHPなどでPRする。

④生産者と事業者のマッチング支援

新商品の開発に向け、特産品の生産者と事業者をつなぐ人的支援をおこなう。

## **Ⅲ 直轄事業**

### **Ⅲ-1 地域間交流事業への参加**

姉妹都市や宮城県南地域など、行政が連携する事業に名取市とともに参加し、広域での観光振興に取り組む。

＜平成 29 年度 実施事業＞

#### **①空路姉妹都市交流**

継続的に実施してきた、空路姉妹都市である千歳市で開催されるスカイビアに参加し、名取市の PR と交流を強化し、物販の代行販売をおこなう。

#### **②地域連携事業の参加**

名亘地場産業振興協議会、宮城インバウンド DMO などの連携事業に、名取市の指示を仰ぎながら参加し、広域での観光振興に取り組む。

### **Ⅲ-2 まつりの運営**

地域の皆様と協働し賑やかで楽しいまつりを運営し、交流人口を増加させる。

＜平成 29 年度 実施事業＞

#### **①なとり夏まつりの事務局運営**

事務局を担うとともに、名取市民はもとより市外のお客様に訪れていただくよう、HP やポスター掲示なので広報活動を積極的に実施する。

#### **②なとり春まつり、ふるさと名取秋まつりの出店**

なとり春まつりの観光 PR ブース運営、秋まつりの観光写真展の開催を通して、名取市の魅力を伝える。

## **IV 復興桜事業**

### **IV-1 新たな観光資源の創造**

復興桜の植樹を継続しておこない、新たな観光拠点として桜並木を整備する。  
またさまざまな媒体で広報をおこない、誘客につなげる。

＜平成 29 年度 実施事業＞

#### **①復興桜育成・植樹**

閑上地区への本格的な桜植樹に向けて、植樹場所と品種本数などの植樹計画を策定し、国、県、および名取市や関係団体と調整し、植樹の準備を進める。  
また、引き続き復興桜の苗木育成と管理をおこなう。

#### **②広報**

メディアなどへの広報活動に絡めながら、HP など WEB の活用、チラシなどの発行を通して、復興桜を PR する。

### **IV-2 持続可能な基盤作り**

復興桜並木の維持・管理を長期間継続しておこなうために、活動資金の獲得やメンテナンス可能な人材の育成を実施する。

#### **①活動資金確保**

持続可能な活動とすべく、活動資金となる助成金獲得を目指す。また寄付金の募集、関連グッズの企画販売などもおこなう。

#### **②人材育成**

桜並木の維持管理を継続しておこなうため、復興桜メンテナンスの可能な人材の育成や、学校との連携を協議する。

#### **③支援者サポート**

復興桜里親の皆様への通信発行、植樹連絡などサポートをおこなう。

## V 名取市ふるさと寄附事業

今年度のふるさと納税を取り巻く環境は、国の指導によりカメラの掲載禁止など、厳しくなっていく事が予想される。そのような状況の中でも収益増を実現するために、名取市並びに市内事業者の皆様との連携を強化し対処していく。

### V-1 魅力ある御礼品の開発

他地域では、味わえない体験できない、名取オリジナルの御礼品を開発し、寄付件数の増加に努める。

<平成 29 年度実施事業>

#### ①御礼品取扱い業務

魅力ある新規商品の開発、新規事業者の開拓をおこなう。

### V-2 広報の強化

さまざまな媒体やイベントを通して特産品の PR をおこない、名取ふるさと寄附へ誘導する。

<平成 29 年度実施事業>

#### ①情報発信

ホームページや Facebook などを活用しタイムリーな情報発信や、ポスター掲示、パンフレットの配布、御礼状での PR をおこなう。

#### ②ポータルサイトの追加

これまでの“ふるさとチョイス”に加え、新たにビールやカメラの掲載も可能な“ふるなび”（株）アイモバイル社）も追加し、複合的に広報を実施する。